

かつ しか く かん きょう はく しょ

令和6年度葛飾区環境白書

がい よう ばん

【概要版】

みんなでつくる

人や自然にやさしく

じ ぞく か のう

持続可能なまち かつしか



葛飾区



こちらのQRコードから
本編をご覧になれます

かつしかく じょうきょう こうひょう かんきょうはくしょ
葛飾区では、毎年、区の環境の状況などについて広く公表するため、「環境白書」を作っています。

がいようばん さいきん ばっすい
この概要版では、令和6年度環境白書の中から最近の取組を抜粋して紹介します。

1

オールかつしかの連携（れんけい）・協働（きょうどう）

じゅうじつ きょうか とくせい
パートナーシップの充実・強化、葛飾の特性
ちいき しげん こうじゅんかん じ せ だい
を活かした地域資源の好循環、次世代の環境
じんざい いくせい
人材の育成に取り組めました。

ひ び や こうえん しゅってん とりつ
○日比谷公園ガーデニングショーへの出展や、都立
しば かいえん きねん きょうどう
芝公園開園150周年記念イベントを通じて、協働

すいしん
による花いっぱいのもちづくりを推進しました。

ごせん かつの しゅうりん かんばつ
○新潟県五泉市や秋田県鹿角市の私有林の間伐など
やく しんりんせいび
に協力し、約14ヘクタールの森林整備に取り組
みました。

しんがた かんせんしょう
○環境学習やイベントは新型コロナウイルス感染症
るい いこう はいけい ちゃくじつ
が5類感染症に移行した背景もあり、着実に
じっせき の
実績を伸ばすことができました。



（上）花いっぱいのまちづくりに取り組んでいます。



（下）かつしか環境・緑化フェア2024

コラム

「ゼロカーボンシティ特別区」に向けた取組

とくべつくちょうかい
○令和5年10月16日、特別区長会は「2050年『ゼロ
カーボンシティ特別区』の実現に向けた特別区長
せんげん きぎょう だつたんそ
会宣言」を行うとともに、中小企業の脱炭素化へ
しえん こうかてき もくてき
の支援を効果的に進めることなどを目的にメガバン
きょうてい ていけつ
ク3行との連携協定を締結しました。

○本取組について、特別区長会の代表として葛飾区
きこうへんどう こくさいかいぎ
長がCOP28（気候変動に関する最大の国際会議）
さんか はっしん
に参加し、脱炭素の取組を世界に発信しました。

たよう しゅたい
○今後、多様な主体と連携し、持続可能な特別区の
こうちく じつげん
構築に向け、一体となって脱炭素社会の実現に取
り組んでいきます。



（上）COP28での青木克徳葛飾区長の講演



（下）世界中のリーダーがCOP28に集まりました。

2

気候変動（きこうへんどう）に対するさらなる取組の強化

脱炭素社会に向けて、温室効果
ガスの排出を抑える取組に加え、
気候変動の影響に備える取組を
同時に推進しました。

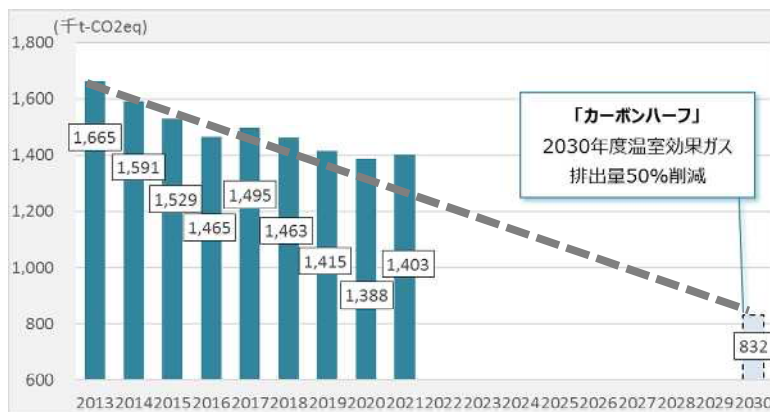
○葛飾区の温室効果ガス排出量は、前
年度と比べ約1.1%増加しました。

全体としては減少傾向にあるものの、

2030年のカーボンハーフに向けてはさらなる削減が必要です。

○「かつしかエコ助成金」により、家庭や事業所における太陽光などの再生可能エネルギーの
利用を促進しました。令和5年度の太陽光発電システム及び蓄電池の助成件数は、前年度比
1.5倍と大幅に増加しました。

○再配達によって発生する温室効果ガス排出量を削減するため、宅配ボックスの導入に対する
助成を開始しました。



（表）葛飾区の温室効果ガス排出量の推移

3

資源循環型地域社会（しげんじゅんかんがたちいきしゃかい）の形成

限りある資源を有効に活用し、地球環境
と上手に調和する循環型の社会を構築す
るために、ごみの発生抑制やリサイクル
などを推進しました。

○かつしかルール（区民・事業者・区の協働で
ごみの量を減らし、資源をリサイクルにつな
げる取組）により、区民1人1日当たりの家
庭ごみ量は減少を続けています。

○令和5年度から、飲食用びん、乾電池、粗大
ごみの金属類、衣装ケースなどプラスチック
製品の資源化を開始しました。



（上）
ごみ収集車と葛飾
区ごみ減量・3R
推進キャラクター
「リー（Ree）
ちゃん」
（右）
雑誌（ざつがみ）
も回収して資源化



4

多様な生き物との共生

せいぶつ たようせい ほぜん つと

生物多様性の保全に努め、より良い自然環境を次世代につなぐとともに、緑と花のある美しいまちづくりを推進しました。

○環境教育の一環として、児童・生徒が環境行動を実践できるよう「葛飾区環境学習用教材～エコかつ～」を作成し、すべての区立小・中学校に配布しました。

○緑と花のまちづくりを推進することで、緑と花の豊かさを感じる区民の割合は、68.7%に増加しています。



葛飾区環境学習用教材「エコかつ」

5

誰もが健康で快適に住み続けられるまち

りょうこう

良好な生活環境を確保する取組や、まちの美化活動を推進しました。

○河川、池、水路の水質向上対策や大気汚染などの防止を推進するとともに、生活環境の保全に取り組みました。

○これらの取組により、区内がごみのない、きれいで清潔なまちになっていると思う区民の割合は、53.6%と増加傾向にあります。



「環境美化の日クリーン作戦」の様子
(江戸川河川敷)

令和6年度葛飾区環境白書の本編は、表紙の二次元コードから区ホームページにてご覧いただけます。

表紙写真：区の花「花しょうぶ」

発行：葛飾区
〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1
電話：03-3695-1111（代表）
編集：環境部環境課



葛飾区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。